

# ブルーフロンエコONE II ブルーフロンエコONE NS II カタログ

【改訂第3版】

## 特 長

### 1 環境配慮型の防水材です

- シックハウス症候群の原因とされているホルムアルデヒドなどの化学物質(厚生労働省・室内濃度指針値13品目)を使用していません。
- (一社)日本塗料工業会のホルムアルデヒド規制自主管理登録で「F☆☆☆☆」を取得しています。
- 人体に有害な鉛・鉛化合物を使用していません。
- 一般的なウレタンゴム系塗膜防水材が該当する労働安全衛生法施行令に定められた特定化学物質のMOCAおよびTDIの規制対象外であり、作業環境に配慮した防水材です。

※下塗りから上塗りまで環境配慮工法とするには、環境配慮型のプライマーおよび環境配慮型のトップコートをお選びください。

### 2 高い塗膜性能を発揮します

- 「ブルーフロンエコONE II」「ブルーフロンエコONE NS II」は建築用塗膜防水材JIS A 6021ウレタンゴム系高伸長形(旧1類)の規格を満足しており、優れた防水性能を発揮します。

### 3 作業性に優れています

- 1液タイプのため、主剤と硬化剤を混合する必要がなく、作業が大幅に低減されます。
- 2液タイプとは異なり、計量ミス、攪拌不足などによる硬化不良の心配がありません。

## 用 途

以下のような用途で使用できます。

- ベランダ
  - 屋上、屋根および庇
  - バルコニー
  - 側溝、巾木
  - ルーフバルコニー
- など

## 荷 姿

[平場用]

- ブルーフロンエコONE II (通年型) ……………9kg、18kg

[立上がり用]

- ブルーフロンエコONE NS II (通年型) ……………9kg

- ブルーフロンエコONE II 硬化促進剤……………1kg、4kg

- ブルーフロンエコONE II 希釈剤……………16ℓ

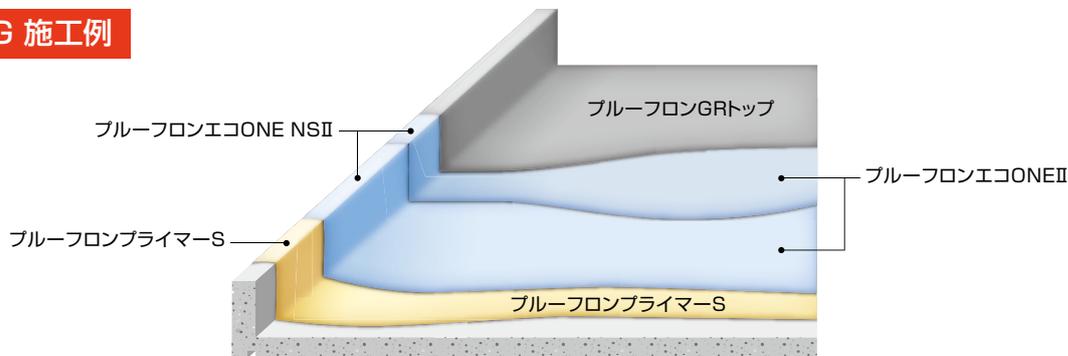
JIS A 6021 建築用塗膜防水材  
屋根用ウレタンゴム系高伸長形認証



登録品種

- ブルーフロンエコONE II
- ブルーフロンエコONE NS II

## PM-I20G 施工例

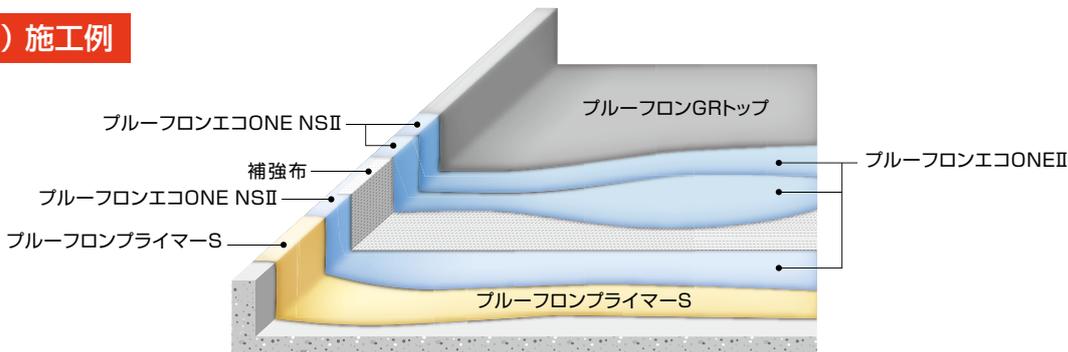


### 密着工法 (平場 : PM-I20G 立上り : PMT-I20G)

工程	材料の割合(重量比)	施工方法	可使時間(23℃)	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	施工間隔(23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート面などのひび割れ部は、NTカチオンシリーズなどで補修してください。</li> <li>●ひび割れ幅が1mm以上の場合は、Uカットのうえ、ポリウレタン系シーリング材ノンブリードタイプを充填してください。</li> <li>●既存防水層の破断、穴あき箇所の浮き部分および、フクレ部分は切除し、NTカチオンシリーズなどで補修してください。</li> <li>●既存露出防水層の表面は、ゴミなどの異物を取り除き、水洗いを行い十分に乾燥させてください。</li> </ul>				
下塗り	ブルーフロンプライマー-S ..... 16kg	●ローラー ●刷毛	—	0.2	3時間以上 72時間以内
中塗り	平場 ブルーフロンエコONE II ..... 18kg	●金コテ ●ゴムヘラ	—※	1.4	16時間以上 72時間以内
	立上り ブルーフロンエコONE NSII ..... 9kg			1.4	
中塗り	平場 ブルーフロンエコONE II ..... 18kg	●金コテ ●ゴムヘラ	—※	1.4	16時間以上 72時間以内
	立上り ブルーフロンエコONE NSII ..... 9kg			1.4	
上塗り	ブルーフロンGRトッップ A液 ..... 15kg B液 ..... 3kg ブルーフロンGRトッップシンナー ..... 0~3.6kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	4時間以内	0.2	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上

※可使時間、施工間隔は「ブルーフロンエコONE II 硬化促進剤の添加量について」をご参照ください。

## X-2(L4X) 施工例



### 公共建築工事標準仕様書 密着工法 X-2 (L4X)

工程	材料の割合(重量比)	施工方法	可使時間(23℃)	使用量(kg/m <sup>2</sup> /回)	施工間隔(23℃)
素地調整	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コンクリート面などのひび割れ部は、NTカチオンシリーズなどで補修してください。</li> <li>●ひび割れ幅が1mm以上の場合は、Uカットのうえ、ポリウレタン系シーリング材ノンブリードタイプを充填してください。</li> <li>●既存防水層の破断、穴あき箇所の浮き部分および、フクレ部分は切除し、NTカチオンシリーズなどで補修してください。</li> <li>●既存露出防水層の表面は、ゴミなどの異物を取り除き、水洗いを行い十分に乾燥させてください。</li> </ul>				
下塗り	ブルーフロンプライマー-S ..... 16kg	●ローラー ●刷毛	—	0.2	3時間以上 72時間以内
補強布用 防水層	平場 ブルーフロンエコONE II ..... 18kg	●金コテ ●ゴムヘラ	—※	0.4	直ちに
	立上り ブルーフロンエコONE NSII ..... 9kg			●ローラー 0.4	
補強布	補強布を、浮き、シワがないように張り付けてください。 重ねしるは50mm以上としてください。				16時間以上 72時間以内
中塗り	平場 ブルーフロンエコONE II ..... 18kg	●金コテ ●ゴムヘラ	—※	2.0	16時間以上 72時間以内
	立上り ブルーフロンエコONE NSII ..... 9kg			1.3	
中塗り	平場 ブルーフロンエコONE II ..... 18kg	●金コテ ●ゴムヘラ	—※	1.8	16時間以上 72時間以内
	立上り ブルーフロンエコONE NSII ..... 9kg			1.1	
上塗り	ブルーフロンGRトッップ A液 ..... 15kg B液 ..... 3kg ブルーフロンGRトッップシンナー ..... 0~3.6kg	●ローラー ●刷毛 ●スプレー	4時間以内	0.2	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上

※可使時間、施工間隔は「ブルーフロンエコONE II 硬化促進剤の添加量について」をご参照ください。

# 一般仕様

工法名	①	②	③	④	⑤	⑥
<b>PM-I30G</b> 密着工法	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 2.1kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 2.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/㎡		
<b>PO-I15G</b> 密着工法 ※既存がウレタン防水のベランダ限定工法	ブルーフロン 塗り替え用プライマー 0.15kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 2.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/㎡			
<b>PG-I20G</b> 密着補強布入り工法	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 0.4kg/㎡	補強布	ブルーフロン エコONE II 1.2kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 1.2kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2 kg/㎡
<b>PN-I20G</b> 通気緩衝工法	接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロン エコONE II 1.4kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 1.4kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PN-I25G</b> 通気緩衝工法	接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロン エコONE II 1.8kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 1.7kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PK-I30G</b> 機械的固定工法	下地状況によりボンド またはプライマー もしくは不要	ブルーフロン NT-FタックシートS	メカニカルアンカー	ブルーフロン エコONE II 2.1kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 2.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/㎡
<b>X-1 (POX)</b> 公共建築工事標準仕様書	接着剤 (ボンドまたは プライマー)	通気緩衝シート	ブルーフロン エコONE II 2.1kg/㎡	ブルーフロン エコONE II 2.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/㎡	
<b>PGT-I20G (立上り)</b> 密着補強布入り工法	ブルーフロン プライマーS 0.2kg/㎡	ブルーフロン エコONE NSII 0.4kg/㎡	補強布	ブルーフロン エコONE NSII 1.3kg/㎡	ブルーフロン エコONE NSII 1.1kg/㎡	ブルーフロン GRトップ 0.2kg/㎡

※別途工法の組み合わせは「ブルーフロンシリーズ」総合カタログをご参照ください。

## 各種プライマー

- ブルーフロンプライマーS
- ブルーフロンプライマーU
- NTエコプライマーU
- NT塩ビシートプライマー
- ブルーフロン塗り替え用プライマー
- ブルーフロンエコ水性プライマーホワイト

※各種プライマー、トップコートの詳細な内容については、「ブルーフロンシリーズ」総合カタログをご参照ください。

## 各種トップコート

- ブルーフロンGRトップフッ素
- ブルーフロンGRトップ遮熱
- ブルーフロンGRトップ
- ブルーフロンGRトップエコ
- ブルーフロンEGトップ4F遮熱
- ブルーフロンEGトップ4F
- ブルーフロンEGトップSi
- ブルーフロンエコ水性GRトップ遮熱
- ブルーフロンエコ水性GRトップ
- ブルーフロンエコ水性トップ※1

※1：ブルーフロン塗り替え用プライマーもしくはブルーフロンプライマー Uを希釈して施工し、6時間以内に該当のトップコートを施工してください(環境配慮仕様はNTエコプライマー UをブルーフロンエコシンナーまたはブルーフロンエコONE II希釈剤にて希釈して使用してください)。

## ブルーフロンエコONE II硬化促進剤の添加量について

### ●ブルーフロンエコONE II 18kgに対する添加量

硬化促進剤の添加量	気温	次工程までの時間	可使用時間
添加なし	20℃未満	硬化促進剤を添加してください	
	20℃	24~72時間	-
	25℃	18~72時間	-
0.09kg (0.5%)	20℃	16~72時間	120分
	25℃	12~72時間	100分
0.18kg (1%)	15℃	18~72時間	55分
	20℃	12~72時間	40分
0.27kg (1.5%)	5℃	18~72時間	55分
	10℃	16~72時間	45分
	15℃	12~72時間	35分
0.36kg (2%)	5℃	16~72時間	45分
	10℃	12~72時間	35分

### ●ブルーフロンエコONE II 9kg、ブルーフロンエコONE NS II 9kgに対する添加量

硬化促進剤の添加量	気温	次工程までの時間	可使用時間
添加なし	20℃未満	硬化促進剤を添加してください	
	20℃	24~72時間	-
	25℃	18~72時間	-
0.05kg (0.5%)	20℃	16~72時間	120分
	25℃	12~72時間	100分
0.09kg (1%)	15℃	18~72時間	55分
	20℃	12~72時間	40分
0.14kg (1.5%)	5℃	18~72時間	55分
	10℃	16~72時間	45分
	15℃	12~72時間	35分
0.18kg (2%)	5℃	16~72時間	45分
	10℃	12~72時間	35分

※ブルーフロンエコONE II 硬化促進剤の添加量は最大2%としてください

※1度の厚塗りや、同日2回施工などは、表面のみ乾燥してしまい、中層、フレクなどの不具合が生じますので、絶対に行わないでください

※硬化促進剤を添加することにより、可使用時間が短くなります。添加後はすみやかにご使用ください。

※硬化促進剤を添加し、時間が経過した材料を使用すると塗り継ぎムラが発生することがありますので、添加後はすみやかにご使用ください。

## 「ブルーフロン防水工法」をご採用いただいたお施主様へ

### 取り扱いとメンテナンスのお願い

ブルーフロン各種材料は、液状のウレタンゴムを塗布して化学反応により硬化し、防水層を形成するシステムです。硬化した防水層は柔軟性があり、その上を歩行することが可能です。

#### ■防水工事施工中のご注意

- 防水工事の施工現場・足場内・資材置き場などは危険が伴うため、立ち入らないでください。
- 防水材料、洗浄材料には有機溶剤を含有している物もありますので、材料や工具には近寄ったり、手を触れたりしないでください。また、施工中は臭気が発生する場合もあるため、その期間中は窓を閉める等、できるだけ作業外気との接触を避けるようご協力をお願いします。
- ブルーフロンの各種防水材、仕上げ塗料は、塗布後硬化、乾燥するまで養生が必要です。硬化・乾燥前のブルーフロン各種防水層に水をこぼしたり、物を置いたり、歩行したりしないでください。

#### ■メンテナンスのお願い

- 防水層に苔・草などを生やさないようにしてください。
- 側溝、ドレン周辺に土砂等が蓄積しないよう、定期的に取り除いてください。
- 防水層の端末・排水ドレン周辺は、半年ごとに点検を実施し、異常があった場合はご相談ください。
- 防水層の仕上げ塗料は、定期的な塗り替えをお勧めします。
- 防水層の点検・補修・仕上げ塗料の再塗装を行う場合は、専門業者へ依頼してください（有償）。

## 「ブルーフロン防水工法」をご使用いただく施工業者様へ

### 「ブルーフロンエコーONE II」「ブルーフロンエコーONE NS II」の取り扱い上の注意事項

- 著しい高温、高湿下、もしくは気温が5℃未満の場合での施工は避けてください。
- 降雨や降雪が予想される場合は、施工を行わないでください。
- 下地のレイタンス、砂、ほこり、ゴミは完全に除去してください。
- 「ブルーフロンエコーONE II」「ブルーフロンエコーONE NS II」の液相分離が見られる場合は、攪拌機を使用し十分に攪拌してください。
- 「ブルーフロンエコーONE II」を希釈する場合は、「ブルーフロンエコーONE II 希釈剤」をご使用ください。
- 「ブルーフロンエコーONE II」「ブルーフロンエコーONE NS II」は湿気硬化型です。一度に多量の施工を行わないでください。硬化、乾燥が遅くなる原因となります。
- 「ブルーフロンエコーONE II」「ブルーフロンエコーONE NS II」の開封後は当

日中に使用してください。

- 製造メーカーの出荷後、3カ月以内を目安に使用してください。
- 下地に巣穴がある場合はピンホールが発生する場合があります。適切な下地処理を行ってください。また、防水層にピンホールが発生した場合は適切な処理を行ってください。
- 「ブルーフロンエコーONE II」「ブルーフロンエコーONE NS II」は通年型です。20℃未満や厚膜塗布の場合に「ブルーフロンエコーONE II 硬化促進剤」を添加します。他の硬化促進剤は使用できません。
- 「ブルーフロンエコーONE II」「ブルーフロンエコーONE NS II」などの使用にあたっては、「ブルーフロンシリーズ」総合カタログの注意事項もご参照ください。

### 取り扱い上の注意事項（必ずよくお読みになってください）

- 火気のあるところでは、絶対に使用しないでください。
- 万一、火災が発生した場合はABC粉末消火器を用いてください。水は使用しないでください。
- 施工中、乾燥中ともに換気を充分に行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。
- 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋および前掛けなどの保護具を着用してください。
- 取り扱い作業中、容器からこぼれないよう注意してください。こぼれた場合は、直ちに布やウエスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 塗料の付着した布やウエスなどは自然発火や引火の危険性があるため、廃棄するまで水につけておいてください。
- 容器はつり上げないでください。止むを得ずつり上げるときには、適切なつり具で垂直に持ち上げ、落下に充分注意してください（偏荷重になると取っ手が外れ、落下する危険性があります）。
- 取り扱い後は手洗い、うがいを充分に行ってください。
- 目に入った場合は多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合はできるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 材料が皮膚に付着し、痛みや外観変化があるときは、医師の診察を受けてく

ださい。

- 蒸気やガスを吸い込んで気分が悪くなった場合は空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じ医師の診察を受けてください。
- 保管は必ずフタをして、直射日光の当たらない場所に保管してください（水系塗料は凍結を避けてください）。
- 子供の手の届かないところに保管してください。
- 中身を使いきってから廃棄してください。また、廃液・汚泥などは関係法規に基づき、自社で適正に処理するか、産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 標準色以外をご指定された場合、褪色が早かったり塗膜性能の低下がみられる可能性があります。
- 本製品は環境を配慮した材料を用いていますが、ご採用いただいたすべての人の健康状態を保証するものではありません。
- 製品の取り扱い、保管については、消防法や労働安全衛生法など各種法令を遵守してください。
- 特定化学物質障害予防規則の対象となる塗料をご使用の場合は、同規則に従い、作業主任者を選任するなどの法令遵守をお願いいたします。
- 詳細な内容が必要な場合は警告ラベル、または安全データシート(SDS)をご参照ください。

\* 製品改良のため、仕様などを予告なしに変更することもあります。ご了承ください。

【その他、ご不明な点がございましたら、最寄りの営業所へお問い合わせください】

## 日本特殊塗料株式会社

■代理店

### ■お問い合わせ先

東京営業所	〒114-8584 東京都北区王子3-23-2	☎(03)3913-6203	FAX(03)3913-6323
神奈川営業所	〒254-8503 神奈川県平塚市長瀬1-10	☎(0463)23-2135	FAX(0463)23-3739
中部営業所	〒472-0006 愛知県知立市山町東並木北12	☎(0566)81-8111	FAX(0566)81-8124
大阪営業所	〒565-0853 大阪府吹田市春日1-4-12	☎(06)6386-8492	FAX(06)6338-3560
中四国営業所	〒739-0025 広島県東広島市西条中央4-3-13	☎(082)423-8231	FAX(082)423-8256
九州営業所	〒849-0112 佐賀県三養基郡みやき町江口4726	☎(0942)89-5766	FAX(0942)89-5762

● 日本特殊塗料ホームページ <https://www.nttoryo.co.jp/>